

2016年9月10日  
坊農

## 日本国際情報学会情報活用研究部会 2016年度研究会報告

2016年9月3日～4日、鹿児島県にて情報研究部会2016年度研究会を開催いたしました。

今回は台風が到来するなか、海上自衛隊鹿屋航空基地史料館等を訪問して旧海軍時代からの資料、展示物の見学を行いました。鹿屋航空基地では主に哨戒機や救難ヘリコプターの航空基地となっています。航空機による哨戒活動は情報の収集方法、分析・判断の在り方等、考えさせられました。

暴風雨のため宿舎に戻り、参加者各位の研究の進捗状況の報告、村上氏による暗号技術や認証方式、電子投票や高度防災情報における情報弱者の問題の発表。大水氏による農業損害評価によるドローン活用研究、郷土研究、ゲーム文化に関する調査研究。増子氏による”油淋鶏”研究。加藤氏による”Is Physical Punishment Beneficial for Teaching?”の研究等々の発表を行い活発な討論を行いました。

また本研究部会の部会長を2016年度9月より大川敦氏就任することで満場一致いたしました。



以上

